

ついにきた、働き方改革

プログラム

モデレーター

横手 幸太郎 (国立大学法人 千葉大学長)

渥美 達也 (北海道大学免疫・代謝内科学教室 教授 / 第121回日本内科学会講演会 会長)

講演 1 9:00~9:25

働き方の課題をどう解決していくか〜ピンチをチャンスに変えるため

演者：木戸 道子 (日本赤十字社医療センター 第一産婦人科 部長)

講演 2 9:25~9:50

医師の過重労働と医療安全

演者：南須原 康行 (北海道大学病院 副病院長/医療安全管理部 部長)

講演 3 9:50~10:15

今から始まる、医師の働き方改革

演者：佐々木 康輔 (厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室長)

総合討論 10:15~11:00

登壇者

横手 幸太郎 (国立大学法人 千葉大学長)

渥美 達也 (北海道大学免疫・代謝内科学教室 教授 / 第121回日本内科学会講演会 会長)

木戸 道子 (日本赤十字社医療センター 第一産婦人科 部長)

南須原 康行 (北海道大学病院 副病院長/医療安全管理部 部長)

佐々木 康輔 (厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室長)

開催趣旨

改正労働基準法の施行から5年が経過しました。社会では、働き方改革(休み方改革)を通じて、労働時間を効率的に使用して働き、そしてしっかりと休めるような環境を整える体制が軌道にのり始めてきています。一方、例外的に据え置かれてきた勤務医の働き方改革も、猶予期間が過ぎて、第121回日本内科学会総会・講演会の開催と時を同じくしてついに正式に開始されます。各医療機関ではこれまで準備を重ね、満を持していまを迎えているとは思いますが、実践にあたって不都合等が明らかになってくることもあろうかと思えます。今回の働き方改革・ダイバーシティ 公開シンポジウムでは、医師の働き方改革の推進を担ってきたリーディングエキスパートにご登壇いただきます。まさにいま、私たちは何をすべきか、ピットフォールがないか、確認できる機会になると思いますので、万難を排してぜひご参加ください。



第121回日本内科学会講演会 働き方改革・ダイバーシティ 公開シンポジウム

ついにきた、働き方改革

プログラム

日時 2024年4月14日(日)9時~11時

会場 東京国際フォーラム ホールB5(1)